

グローバル・ボンド・ポート (Cコース) / (Dコース)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

各ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債へ投資を行い、信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年3月22日～2025年9月22日

第54期		決算日：2025年9月22日	
第54期末（2025年9月22日）			
		グローバル・ボンド・ポート（Cコース）	グローバル・ボンド・ポート（Dコース）
基 準 価 額		7,575円	12,745円
純 資 産 総 額		13,136百万円	13,231百万円
第54期	騰落率	0.4%	4.5%
	分配金合計	50円	100円

（注1）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

（注2）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

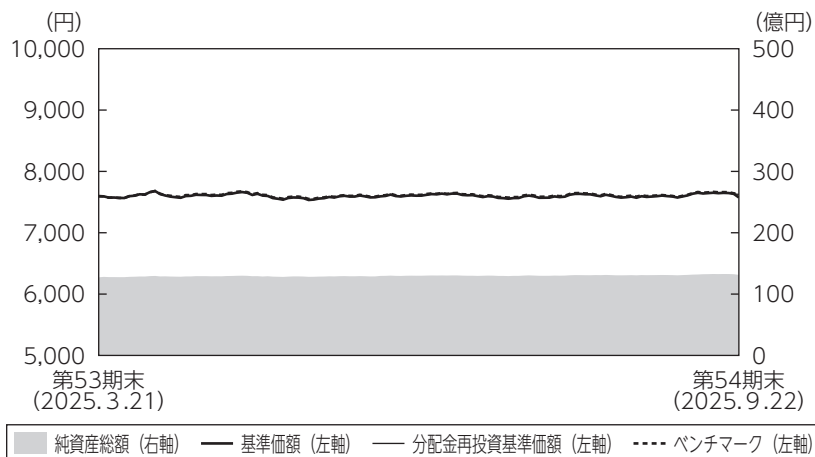
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第54期首： 7,596円
 第54期末： 7,575円
 (既払分配金50円)
 騰落率： 0.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の＜当ファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。各国でのインフレ沈静化の進展や追加利下げなどから、主要国の国債利回りが低下（価格は上昇）したことが基準価額上昇の主因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第54期		項目の概要
	(2025年3月22日 ～2025年9月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.474%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,601円です。
(投信会社)	(18)	(0.237)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(16)	(0.209)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.016	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.014)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	37	0.490	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

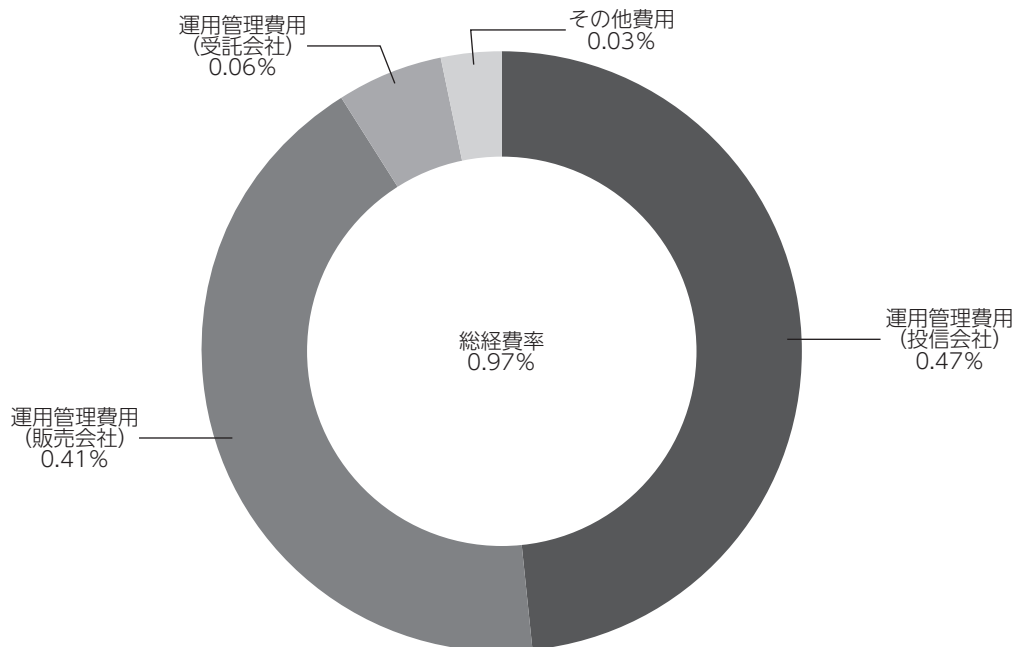
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



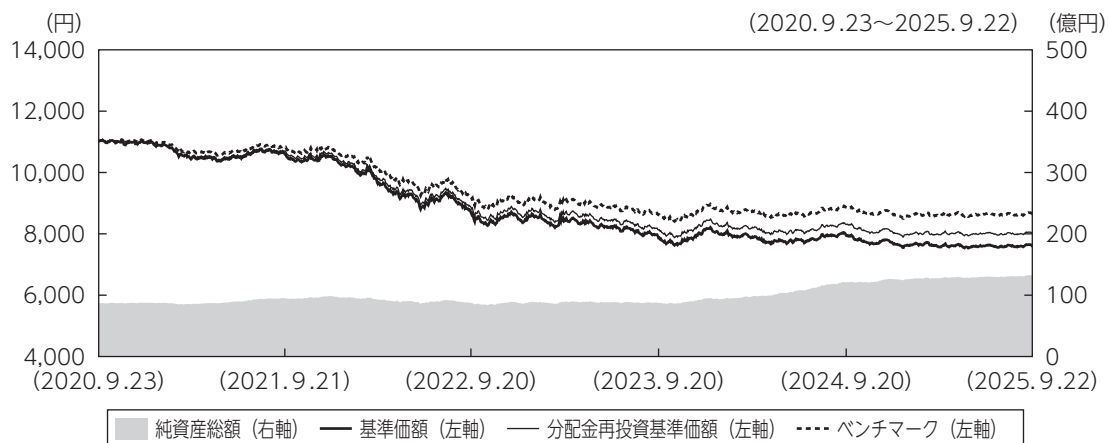
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり））は、2020年9月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年9月23日 期首	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日	2024年9月20日 決算日	2025年9月22日 決算日
基準価額（分配落） (円)	11,039	10,602	8,692	7,865	7,943	7,575
期間分配金合計（税引前） (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△3.0	△17.1	△8.4	2.3	△3.4
ベンチマークの騰落率 (%)	—	△1.9	△15.0	△6.4	2.9	△2.4
純資産総額 (百万円)	8,660	9,490	8,715	8,716	12,064	13,136

投資環境

主要国の国債利回りは低下しました。米国では景気が底堅さを維持する中、トランプ政権の関税によるインフレ再燃への警戒感から、F R B（米連邦準備理事会）が利下げに慎重な姿勢を示したことを背景に国債利回りは上昇（価格は下落）しましたが、その後労働市場の減速が意識されると利回りは低下に転じました。ユーロ圏ではインフレ沈静化の進展や、E C B（欧州中央銀行）の追加利下げなどから、利回りは低下しました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、対円で為替ヘッジを行い、為替リスクを低減しました。

【通貨別構成比】

		通 貨 別 組 入 状 況			修 正 デ ュ レ ー シ ョ ン		
		組 入 債 券	為替予約・先物	計	フ ァ ン ド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	42.9%	△43.2%	△0.3%	5.9	5.7	0.1
	カナダ・ドル	2.0%	△2.0%	△0.0%	5.7	6.6	△0.8
中南米	メキシコ・ペソ	5.0%	△5.0%	0.1%	5.0	5.0	0.0
欧州	イギリス・ポンド	4.3%	△4.4%	△0.0%	6.0	8.2	△2.2
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	8.1	—
	ノルウェー・クローネ	0.2%	△0.2%	△0.0%	1.0	5.6	△4.6
	ユーロ	29.6%	△29.9%	△0.3%	6.5	6.9	△0.4
	スウェーデン・クローナ	0.2%	△0.2%	△0.0%	7.3	5.1	2.3
	ポーランド・ズロチ	0.6%	△0.7%	△0.0%	4.6	3.8	0.8
	オーストラリア・ドル	4.9%	△5.0%	△0.0%	8.4	6.2	2.2
アジア・オセアニア	ニュージーランド・ドル	0.3%	△0.3%	0.0%	6.0	6.1	△0.1
	シンガポール・ドル	0.9%	△0.9%	△0.0%	8.3	8.9	△0.6
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.6	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.6	—
	オフショア・人民元	7.5%	△7.6%	△0.1%	8.1	0.0	8.1
中東	イスラエル・シェケル	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.2	—
現金等		1.5%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。
(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。
(注3) 世界国債インデックスとは、F T S E世界国債インデックス（除く日本）です。
(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

● グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

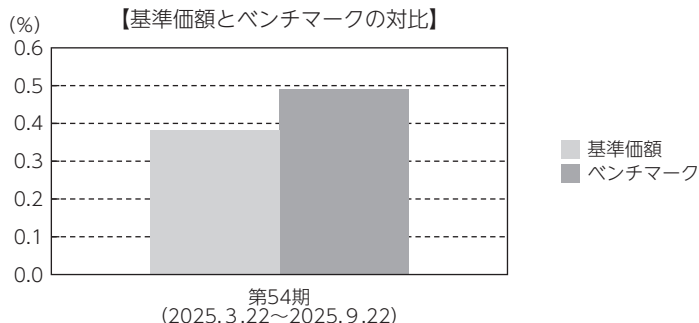
デュレーション[※]は、主要国における利下げ進展を念頭に、ベンチマークに対する長期化を継続しましたが、米政権の政策不透明感などから、長期化幅は機動的に拡縮しました。国別の投資配分については、豪州、シンガポール、カナダ、メキシコの比率を拡大した一方、ユーロ圏や中国の比率を縮小して運営しました。ユーロ圏内の国別配分では、域内での周縁国の投資比率を拡大しました。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で0.5%上昇しました。

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）はベンチマークを0.1%下回りました。債券のポジションによる正味の運用収益は小幅にベンチマークを上回りましたが、信託報酬その他の運用費用がマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年3月22日 ～2025年9月22日
当期分配金（税引前）	50円
対基準価額比率	0.66%
当期の収益	50円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,115円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、対円での為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざします。

●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

米国では関税によるインフレ再燃への警戒感が根強い一方、これまで底堅さを示してきた労働市場の減速が意識され、金融市場で利下げ観測が高まる中、F R Bは経済情勢を慎重に見極めつつ利下げを継続すると見られています。斯かる中、債券のデュレーションは、対ベンチマークでの長期化を軸とした運営を継続します。国別配分では、豪州、メキシコなどをオーバーウェイト、ユーロ圏内の国別配分では周縁国のオーバーウェイトを軸とする方針ですが、適宜見直しを行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

（2025年4月1日）

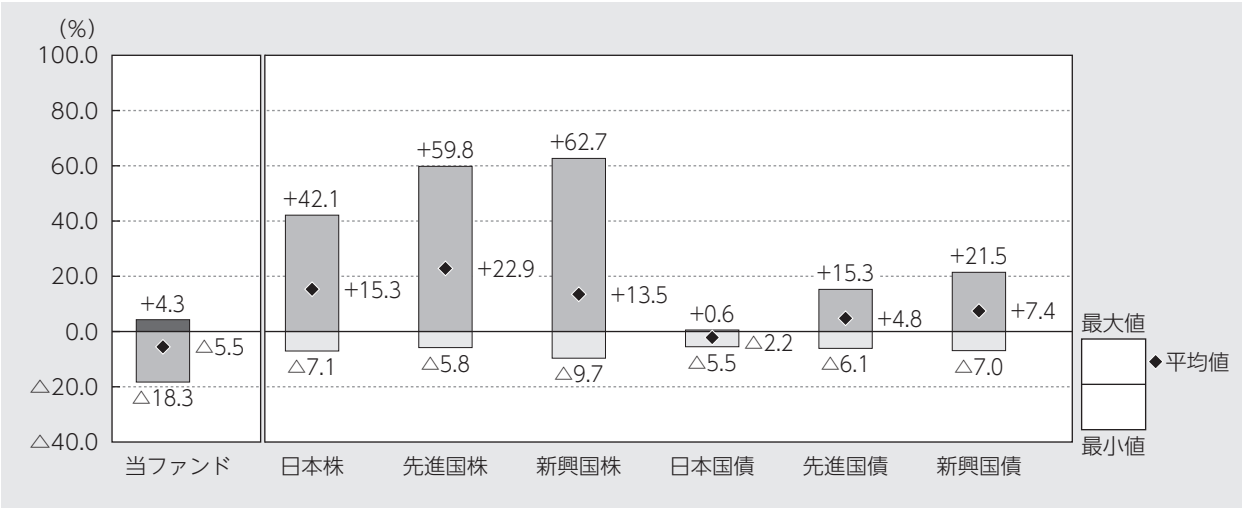
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	1998年12月10日から無期限です。	
運 用 方 針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ボンド・ポート（Cコース）	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	「F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減をはかるため、原則として全て対円での為替ヘッジを行います。	
分 配 方 針	決算日（原則として3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として利子・配当等収益の中から分配する方針です。売買益（評価益を含みます。）等は、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配する方針です。分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年9月～2025年8月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年9月22日現在）

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）

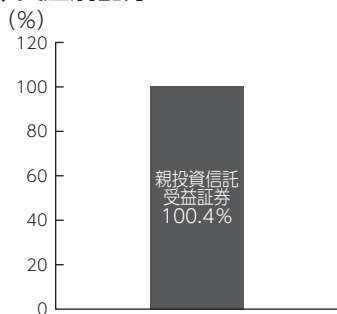
◆組入ファンド等（組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2025年9月22日
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	100.4%
その他	△0.4

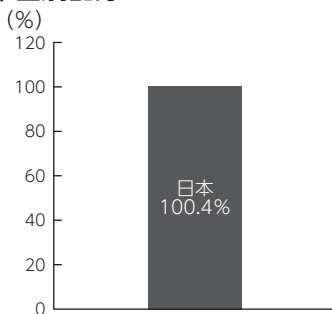
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

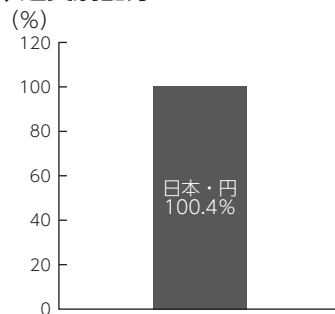
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っています。

（注3）資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。

純資産等

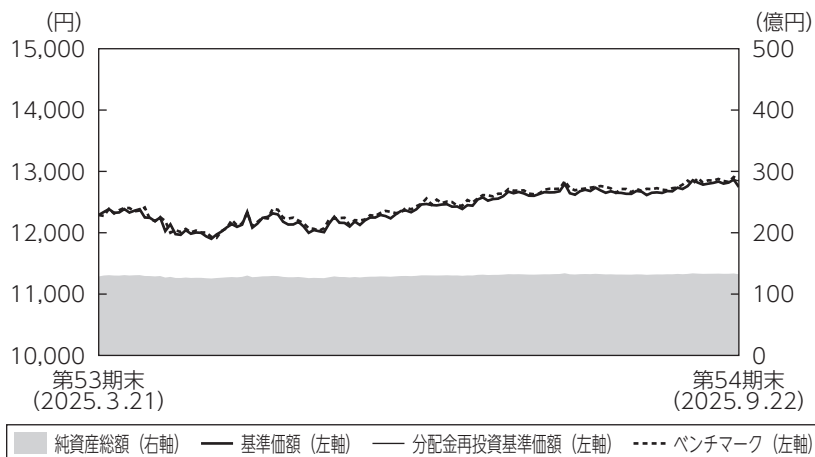
項目	当期末
	2025年9月22日
純資産総額	13,136,201,938円
受益権総口数	17,342,054,923口
1万口当たり基準価額	7,575円

（注）当期中における追加設定元本額は1,187,323,019円、同解約元本額は604,591,443円です。

組入ファンドの概要については、21ページをご覧ください。

運用経過の説明

基準価額等の推移



第54期首： 12,289円
 第54期末： 12,745円
 (既払分配金100円)
 騰落率： 4.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。トランプ政権の関税政策により経済・物価見通しの先行き不確実性が高まり、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどから、多くの主要通貨に対して円安となったことがプラス要因となりました。また、各国でのインフレ沈静化の進展や追加利下げなどから、主要国の国債利回りが低下（価格は上昇）したこともプラス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第54期		項目の概要
	(2025年3月22日 ～2025年9月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	59円	0.474%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,412円です。
(投信会社)	(29)	(0.237)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(26)	(0.209)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.020	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.007)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	61	0.493	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

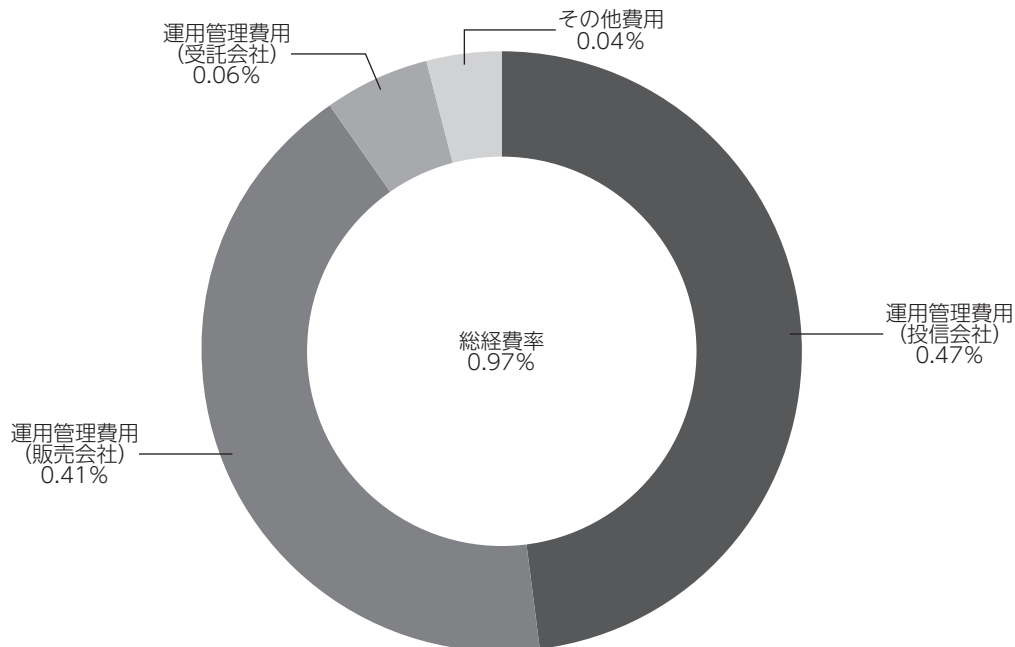
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



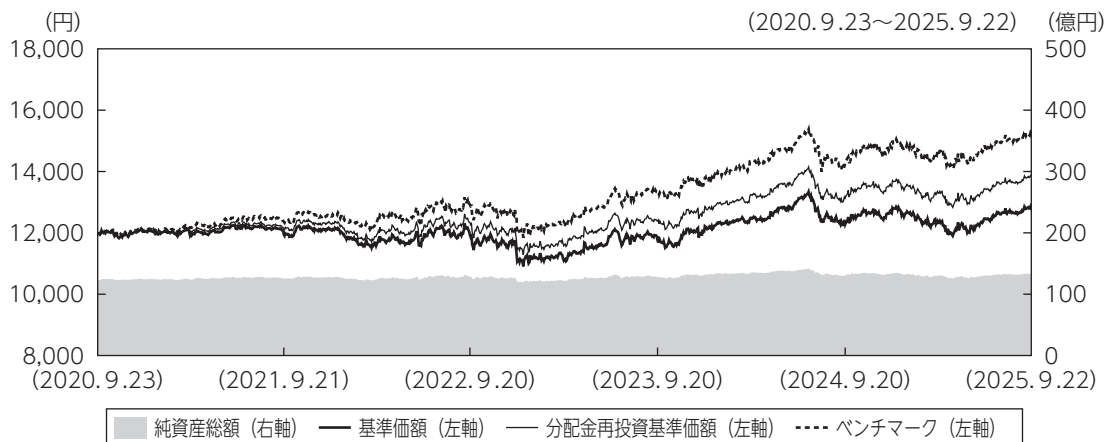
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし））は、2020年9月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年9月23日 期首	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月20日 決算日	2024年9月20日 決算日	2025年9月22日 決算日
基準価額（分配落） (円)	11,963	11,944	11,929	11,767	12,278	12,745
期間分配金合計（税引前） (円)	—	200	200	200	200	200
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.5	1.6	0.4	6.0	5.5
ベンチマークの騰落率 (%)	—	3.3	4.5	3.2	7.0	6.7
純資産総額 (百万円)	12,189	12,471	12,789	12,740	12,974	13,231

投資環境

主要国の国債利回りは低下しました。米国では景気が底堅さを維持する中、トランプ政権の関税によるインフレ再燃への警戒感から、F R B（米連邦準備理事会）が利下げに慎重な姿勢を示したことを背景に国債利回りは上昇（価格は下落）しましたが、その後労働市場の減速が意識されると利回りは低下に転じました。ユーロ圏ではインフレ沈静化の進展や、E C B（欧州中央銀行）の追加利下げなどから、利回りは低下しました。

為替市場では、多くの主要通貨が対円で上昇しました。トランプ政権の関税政策により経済・物価見通しの先行きに対する不確実性が高まり、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどから、多くの主要通貨に対して円安が進行しました。また、E U（欧州連合）における共同防衛政策や各国の防衛支出拡大が欧州統合の進展や景気刺激策として好感され、欧州通貨が堅調に推移したことも対円での上昇要因となりました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、為替予約取引を用いて、機動的に為替リスクを調整する運用を行いました。通貨配分については、ベンチマーク比率に対するカナダドルや人民元のアンダーウェイトを軸に、米ドルはオーバーウェイトを一時アンダーウェイトに転じるなど機動的なポジション運営を実施しました。

【通貨別構成比】

		通 貨 別 組 入 状 況			修 正 デ ュ レ ー シ ョ ン		
		組 入 債 券	為替予約・先物	計	ファ ン ド	世界国債インデックス	差
北米	U S ドル	42.6%	3.1%	45.7%	5.9	5.7	0.1
	カナダ・ドル	2.0%	△1.7%	0.2%	5.7	6.6	△0.8
中南米	メキシコ・ペソ	5.0%	△2.3%	2.7%	5.0	5.0	0.0
欧州	イギリス・ポンド	4.3%	1.2%	5.5%	6.0	8.2	△2.2
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	8.1	—
	ノルウェー・クローネ	0.2%	△0.0%	0.2%	1.0	5.6	△4.6
	ユーロ	29.4%	△0.8%	28.7%	6.5	6.9	△0.4
	スウェーデン・クローナ	0.2%	0.0%	0.2%	7.3	5.1	2.3
	ポーランド・ズロチ	0.6%	0.0%	0.6%	4.6	3.8	0.8
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	4.9%	△2.6%	2.3%	8.4	6.2	2.2
	ニュージーランド・ドル	0.3%	1.0%	1.3%	6.0	6.1	△0.1
	シンガポール・ドル	0.9%	0.0%	0.9%	8.3	8.9	△0.6
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.6	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.6	—
	オフショア・人民元	7.5%	1.8%	9.3%	8.1	0.0	8.1
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.4%	0.4%	—	6.2	—
現金等		2.1%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。
(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。
(注3) 世界国債インデックスとは、F T S E 世界国債インデックス（除く日本）です。
(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

● グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

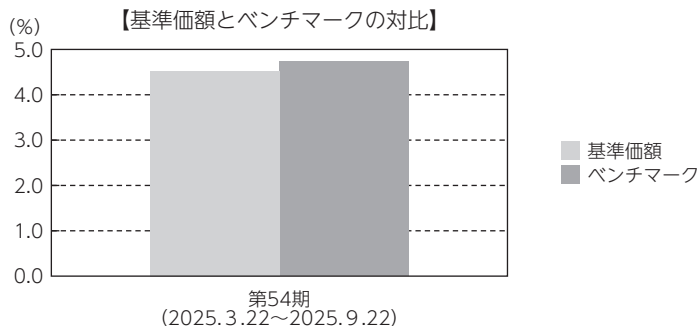
デュレーション[※]は、主要国における利下げ進展を念頭に、ベンチマークに対する長期化を継続しましたが、米政権の政策不透明感などから、長期化幅は機動的に拡縮しました。国別の投資配分については、豪州、シンガポール、カナダ、メキシコの比率を拡大した一方、ユーロ圏や中国の比率を縮小して運営しました。ユーロ圏内の国別配分では、域内での周縁国の投資比率を拡大しました。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

■ ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で4.7%上昇しました。

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）はベンチマークを0.2%下回りました。債券のポジションによる正味の運用収益は小幅にベンチマークを上回りましたが、信託報酬その他の運用費用がマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年3月22日 ～2025年9月22日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.78%
当期の収益	100円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,520円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、債券部分の実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、為替予約取引を用いて、機動的に通貨配分比率を調整する方針です。

マザーファンドの今後の運用方針については、7ページをご覧ください。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

（2025年4月1日）

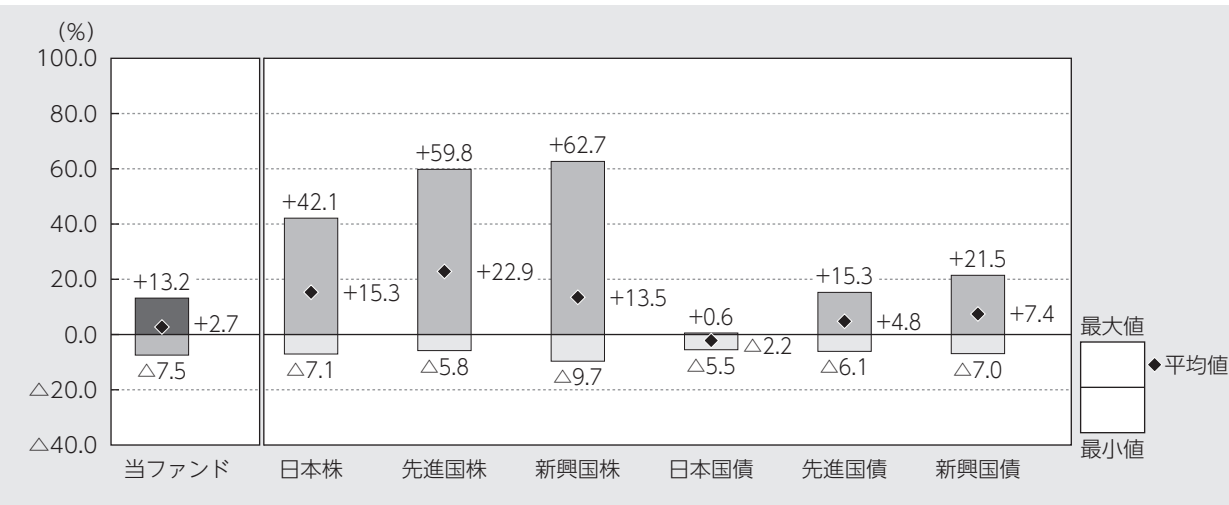
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	1998年12月10日から無期限です。	
運 用 方 針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ボンド・ポート（Dコース）	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	「F T S E 世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。	
分 配 方 針	決算日（原則として3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として利子・配当等収益の中から分配する方針です。売買益（評価益を含みます。）等は、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配する方針です。分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年9月～2025年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年9月22日現在）

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）

◆組入ファンド等

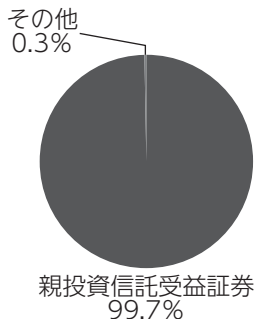
（組入ファンド数：1ファンド）

	当期末
	2025年9月22日
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	99.7%
その他	0.3

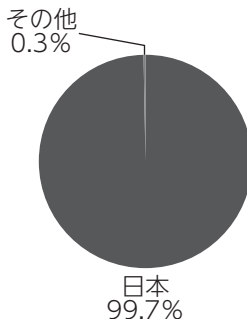
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

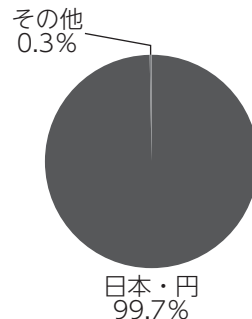
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

（注3）通貨別配分については、為替予約取引を用いて実質的な通貨の比率を調整しています。通貨別配分に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

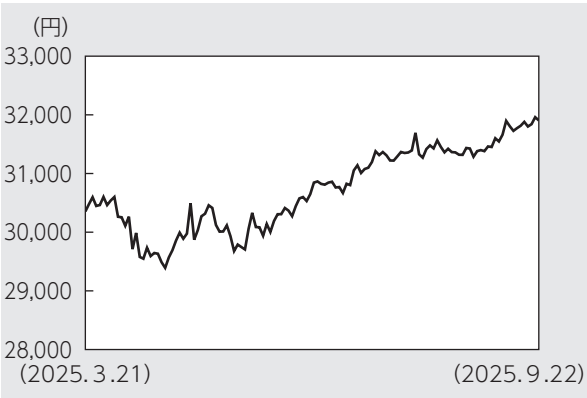
項目	当期末
	2025年9月22日
純資産総額	13,231,551,605円
受益権総口数	10,381,702,945口
1万口当たり基準価額	12,745円

（注）当期中における追加設定元本額は496,266,870円、同解約元本額は592,056,957円です。

組入ファンドの概要

[グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド] (計算期間 2025年3月22日～2025年9月22日)

◆基準価額の推移



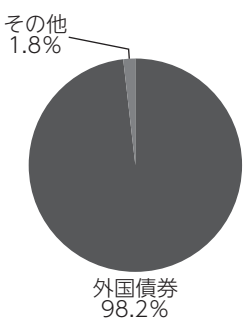
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.625 02/15/35	アメリカ・ドル	5.9%
US T N/B 4.125 11/15/32	アメリカ・ドル	4.7
US T N/B 3.625 08/15/28	アメリカ・ドル	4.7
CHINA GOVERNMENT BOND 1.87 09/15/31	オフショア・人民元	4.0
SPAIN 3.15 04/30/35	ユーロ	4.0
US T N/B 2.375 05/15/29	アメリカ・ドル	4.0
US T N/B 4.0 05/31/30	アメリカ・ドル	3.7
BUNDESSCHAT 2.0 12/10/26	ユーロ	3.1
MEXICAN BONDS 02/28/30	メキシコ・ペソ	2.8
ITALY BTPS 2.95 07/01/30	ユーロ	2.7
組入銘柄数	60銘柄	

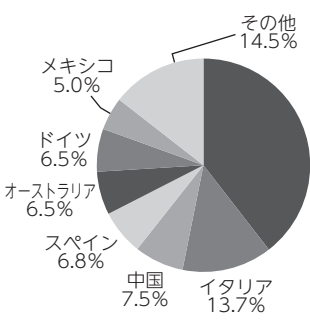
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用 (その他)	3円 (3) (0)	0.010% (0.009) (0.000)
合計	3	0.010
期中の平均基準価額は30,727円です。		

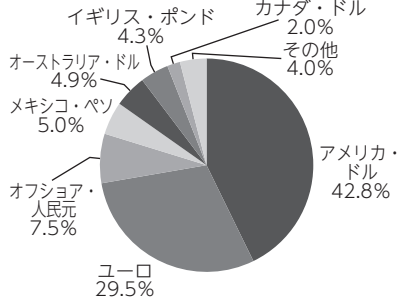
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

